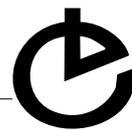


# 議会だより とくのしま



第171号

平成25年5月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203  
TEL 0997 (82) 1111 FAX 0997 (82) 1101



植物工場を視察する議員たち（17ページに関連記事）

## 第1回定例会

3月5日～3月14日

- ☆ 審議された案件と議決結果 P 10
- ☆ 一般質問（7氏登壇） P 11
- ☆ 議会の動き P 16
- ☆ 先進地視察 P 17
- ☆ 徳之島三カ町議会議員大会及び研修会 P 18

3 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果			
(議案)				
・特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定	原	案	可	決
・教育委員会教育長の給与及び勤務時間の特例に関する条例の制定	原	案	可	決
・指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の制定	原	案	可	決
・指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定	原	案	可	決
・指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の制定	原	案	可	決
・鳥獣被害対策実施隊の設置に関する条例の制定	原	否		決
・町道の構造の技術的基準等を定める条例の制定	原	案	可	決
・町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の制定	原	案	可	決
・準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の制定	原	案	可	決
・町営住宅及び共同施設の整備基準に関する条例の制定	原	案	可	決
・水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の制定	原	案	可	決
・課設置条例の一部改正	原	案	可	決
・花徳地区地域農業管理施設設置及び管理に関する条例の一部改正	原	案	可	決
・都市公園条例の一部改正	原	案	可	決
・下水道条例の一部改正	原	案	可	決
・町営住宅設置及び管理条例の一部改正	原	案	可	決
・過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	原	可		決
・総合整備計画の変更	原	可		決
・特別養護老人ホームの土地及び建物の無償貸付期間の延長	原	可		決
・工事請負変更契約（小郷団地 5 号棟新築工事 3 工区）	原	可		決
・工事請負変更契約（小郷団地 5 号棟新築工事 4 工区）	原	可		決
・町道の認定	原	可		決
・平成 23 年度奄美自治会館管理組合歳入歳出決算認定	原	可		決
・県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の共同処理する事務の変更並びに同組合同規約の変更	原	可		決
・平成 24 年度一般会計補正予算（第 11 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度簡易水道事業特別会計補正予算（第 6 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 3 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度公共下水道事業特別会計補正予算（第 5 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度地域包括支援センター事業特別会計補正予算（第 2 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 3 号）	原	案	可	決
・平成 24 年度水道事業会計補正予算（第 5 号）	原	案	可	決
・平成 25 年度一般会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 25 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 25 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 25 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 25 年度介護保険事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 25 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 25 年度地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 25 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 25 年度水道事業会計歳入歳出予算	原	案	可	決
(報告)				
・平成 25 年度徳之島町土地開発公社予算				
・公営住宅未払い賃料請求に関する訴訟の提起及び調停の申立て				
(発議)				
・環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）交渉への参加に反対する決議	原	案	可	決

# いっばん質問

3月定例会には、7人の議員が登壇し、漁業振興、世界自然遺産登録実現等、医療・福祉問題、教育問題、雇用問題、さらに農業振興など町政全般にわたり執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

## 危ない母間の通学路



田袋 徹二 議員

### 区画線等を検討

**答** 麓建設課長

県道拡幅には多額の用地補償費が必要となり、現在の道路事業としての事業採択は困難である。

**問** 母間地区の通学路は「危険通学路」として県に申請されているのか。母間地区内県道の拡幅工事が進まない原因は何か。今後、安全対策としてどのように取り組むのか。

### 要対策箇所として

### 県に報告

**答** 岡元学校教育課長

地区内の通学路は、昨年の7月から8月にかけて、関係機関で合同安全点検と実態調査を行った。その後、11月30日に室内検討会で協議した結果、対策必要箇所として、県に報告した。

### 学校再編委の 答申を受けて

**答** 秋武教育長  
学校再編については、学校再編計画委員会では、

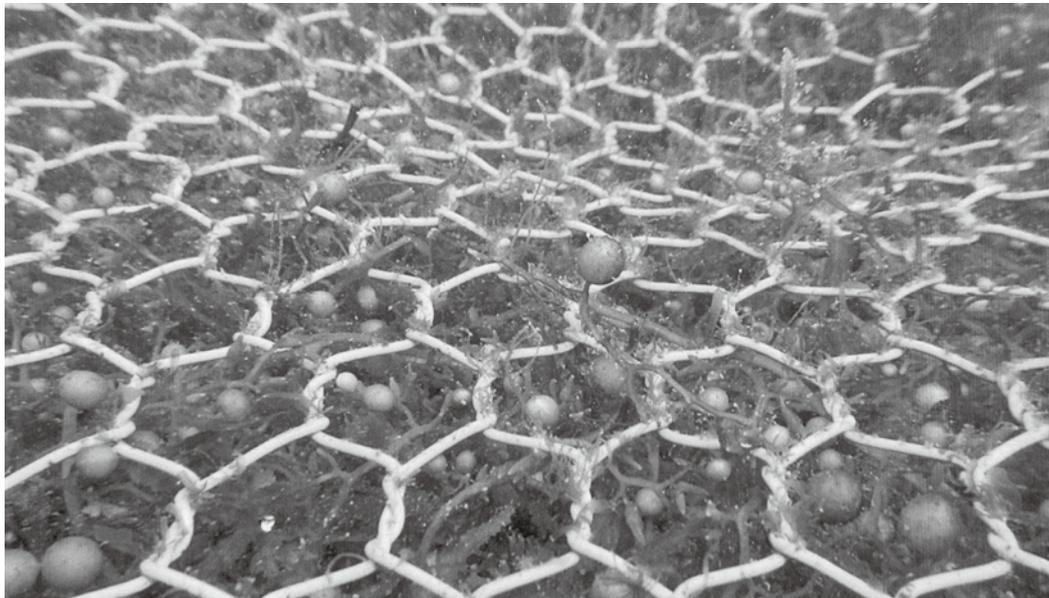
検討中である。東天城中学校の建て替えは、この答申に基づき、単独校あるいは、統合された学校として、亀津中学校の建設後に予定している。

**問**

学校再編会議の経過と結果はどうなったか。

東天城中学校の建て替え計画をどう考えているのか。

### どうなる学校再編と 東中の建て替え



藻場ブロックゲージ

### 藻場の再生は

**問** 漁業振興策の第一は藻場の再生と思う。

藻場消滅の原因追及をし、藻場の再生を奄美全体の問題として、新奄振事業で取り組めないか。

### 奄振の

### ソフト事業で

**答** 高岡町長

奄振であれば、ソフト事業となる。今後、事業の提案をしていきたい。

### 藻場ブロックを

### 投入

**答** 深水農林水産課長

離島漁業再生支援事業で藻の付着したブロックを入れたゲージを作成し、手々、山、母間の海中に投入し藻場造りを進めている。

藻場消滅の原因は調査中である。

# 住民の意識改革を



幸 千恵子 議員

れ、各機関に協力を依頼し「ポイ捨てゼロ」を目指していく。

**問** ごみのポイ捨てや不法投棄は自然遺産登録以前の問題だが、この機会に住民の意識改革が必要。ドライバーには、自動車教習所と免許交付時に警察署で、農家には農政懇談会で行い、全戸・全事業所へも協力依頼を行ってはどうか。

## モラルの向上を

**答** 徳田住民生活課長

住民の善意、努力によりきれいになった道路に平然とたばこやごみを捨てる人がいる。人として当然のモラルの向上、ポイ捨て防止条例の普及に力を入

## プールの修理計画は

**問** 亀津小学校のプールの過期の修理計画はどうなっているか。修理費は幾らか。また、シロアリ被害で穴の空いているワークスペースの修理計画はどうなっているか。費用の見積もりは幾らか。

## 早急に対応する

**答** 岡元学校教育課長

プールは水質の汚濁等健康面から、必要なので、今年の使用時期までには修繕を終える。費用は12万円ほど。また、ワークスペースは、24年度中で早急に対応する。費用は40万円ほど。

## 合わせて

7億円

**問** 植物工場建設計画地は、造成費等を合わせると4億5千万円。

シルバーハウス建設費2億6千万円を合わせると7億円余りだが、これは全て町民の税金ですね。市場調査は、どういうふうに行ったか。

## 総合的な福祉施設としての整備を推進

**答** 古賀副町長

地方債（過疎債）を有効に活用して、障がい者雇用のための植物工場、高齢者向けのシルバーハウジングと福祉政策を推進する。植物工場での生産は、聞き取り調査を元に計画しているが、品目や量は需要を踏まえて収益が高くなるよう努力する。



修繕が待ち望まれる亀津小学校プール

### 1 月臨時会（第 1 回）で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・イノシシ用侵入防止柵購入契約について	可 決
・教育委員会委員の任命について (幸田孝継氏)	同 意

# 徳之島用水について

保岡 盛寿 議員



の再編強化を図り加入率向上へ啓発したい。

**問** 徳之島用水の今後の事業計画について伺う。また、事業を推進していく上で加入率の向上対策についてどのように考えているか伺う。

**答** 里内耕地課長 徳之島用水は平成27年度完成を予定。国附帯県営かんがい事業は平成33年度まで計画をしている。畑地かんがい事業をぜひ後継者・若手担い手等へ引き継ぐ基盤づくりのチャンスと捉えていただくため、関係機関一体となって推進組織

基盤づくりの  
チャンス

PRを目的とした、第1回「とくの島」観光・物産フェアin東京が開催された。今後の取り組みについてどのように考えているか。

地域営業課

主体で

**答** 深水農林水産課長

**問** 2月10日に東京で赤土バレイショ「春一番」の販売促進と徳之島の

今回は、バレイショのみで農林水産課が担当した。今後はイベントの内容が観光・物産がメインとなるので地域営業課が主体となる。

積極的に参加を

**答** 政木地域営業課長 このイベントは、観光連盟を中心に徳之島を売り込む、せっかくの良い機会だ。3町の観光・物産担当課も一緒になって次回からも積極的に取り組む。

**問** 徳之島の闘牛は、伝統文化、観光資源と

闘牛を

文化財指定に

言われているが、行政としてどのような支援がされているのか。また、町の文化財指定認定については、どのような考えなのか。

運営費を支援

**答** 長川企画課長

本町は、3町で組織する徳之島闘牛連合会へ運営費として年間5万円を支援している。

案内板を設置

**答** 政木地域営業課長 24年度は国交省の事業でドーム闘牛場への写真付き大型看板を1基と案内板を2基設置した。これからも観光客の利便性に配慮することができるよう何らかの支援は必要かと思う。

文化的価値は

高い

**答** 琉社会教育課長

徳之島の闘牛は歴史も古く、農繁期の疲れを癒やすナクサミとして貴重な文化であり、将来にわたって継承していく価値は高い。しかし教育現場からの青少年健全育成への配慮の声もあり十分協議し、理解を深める必要がある。



第1回「とくの島」観光物産フェア in 東京

# 農家所得向上を真剣に

福岡 兵八郎 議員



**問** キビ十畜産十園芸の徳之島型複合経営が推進されているが、共済制度の整備や価格安定制度の整備等課題は山積み。農家の所得向上を真剣に政策提案すべきでは。

## ハウス整備での営農

**答** 深水農林水産課長  
野菜等の共済制度の導入は、単一作付面積が1000畝単位などの要件が必要町の重要品目のカボチャ・シヨウガ・ニンジン等の産地育成を含めて検討が必要所得向上は、畑かんモデル地区での通水後のハウス整備等の営農転換が必要。

## 緊急雇用事業を民間にも

民間にも

**問** 就業機会の創出に、緊急雇用対策事業で町が8分野で29人雇用している。この事業を民間にも適用して活性化を図るべきでは。

## 提案次第で可能

**答** 長川企画課長  
緊急雇用事業は、離職者の一時的なつなぎ就業の機会を提供することとされている。提案次第では可能である。

## 障がい者雇用環境は

**問** 障がい者雇用は町と計画しているが、現在活動している民間の「徳州園」



就労継続支援 B 型事業所で訓練する通所者たち

や「ワイドあけぼの」や花徳の「いっぽ」等のかかわりや影響はどうなるのか。

また、特別支援教育が小・中学は実施されているが、その後の教育環境はどうなっているのか。

## 影響ないのでは

**答** 住田保健福祉課長  
現在、町内にある事業所は就労継続支援 B 型で、植物工場は、A 型の予定。B 型は訓練的な場で、A 型は雇用契約による就労の場。B 型利用者が A 型の利用は難しく、既存の事業所への影響はないと思われる。

今後も、各事業所や相談事業所との連携を図り、雇用環境整備に努める。

## 特別支援教育環境が一步前進

**答** 秋武教育長  
本町の小・中学校 6 校に特別支援学級が設置され、個々の障害に応じた教育を実施している。4 月から大島養護学校高等部の訪問教育も始まり、その後の就労にも希望が持てる教育環境が整ってきつつある。

## 次回の定例会は 6 月です。

みんなで議事を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)



議会傍聴の様子

※ 定例会の様子をインターネットでご覧いただけます。町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。

# 利用計画に町民の意見を



内 重男 議員

23年9月から12回の公判が行われ、3月18日に13回目の公判が予定されている。結審については、未定。

**問** 債務負担行為2億5千万円で購入した土地は、広く町民の意見を募って利用計画を立ててはどうか。

また、この土地は「土地差し止め」「1億5千万円の損害賠償請求」の2件で鹿児島地方裁判所で裁判中だが、経過は。

変更なし

**答** 高岡町長  
計画は既に決定しているので変更はない。

結審は未定

**答** 米原総務課長  
裁判の経過は、平成

## 植物工場計画は

白紙を

**問** 医療養護施設用地は、徳寿園の移設撤回で建設費5千万円（造成費別途）で植物工場建設計画に変わったが、経済性、費用対効果から、計画を白紙に戻すべきだ。後々の責任の所在は。

白紙撤回はない

**答** 高岡町長  
この土地は、医療施設誘致には至らなかった。その後、十分検討し、障がい者雇用目的に植物工場建設、シルバーハウジング建

設に至った。白紙に戻すことはない。政策責任は私にある。

## 不衛生な排水路

**問** 亀津東区の建設会館前の堤防と漁港広場の間の排水路は、汚水が排出されず溜まって不衛生だが、確認したか。また、今後の対策は。

港内事業に

合わせて

**答** 深水農林水産課長  
去年台風後に排水路の砂など除去した。この排水路はごみや砂等で排水口をふさぎ悪臭がしている。港内事業と抱き合わせて解決できたらと考えている。



悪臭のする排水路

# 奄振でも農家救済を



是枝 孝太郎 議員

予算措置は難しい

**答** 長川企画課長  
台風災害復旧事業の予算措置は、県とも協議したが、奄振事業の趣旨からして、難しい。

**問** 台風災害復旧の借入の利子補給の応募件数は。県の台風災害復旧事業に関わる予算措置の対象農家数は。また、奄振でも農家に対して予算措置はできないか。

特定保健指導の

取り組みは

全体で 58 件

**答** 深水農林水産課長  
利子補給応募数は、運営資金22件2055万円。施設復旧資金は、6件1088万円。利子補給は、年1.7%。台風復旧事業費は、30件7464万円。貸付機関は、JAあまみ農協で利子補給制度も申請時に行っている。

**問** 国民健康保険運営状況はどうなっているか。また、国民健康保険事業の特定健康診査・特定保健指導取り組み状況と25年度へ向けての計画は。

継続受診の指導

**答** 住田保健福祉課長  
国保財政は、法定外繰り入れ等を行うなど運営が厳しい。集団健診終了後

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)  
に、未受診者への電話や訪問により対策を行っていたが、平成25年度は、4月から受診対策に取り組むことにより、継続受診の必要性を説き健診・指導を受けて良かったと感じられるよう対策を行う。

### 定住政策を

**問** 島外からの、徳之島町に定住を希望して

**答** 長川企画課長  
Uターン者支援として空き家を活用して平成25年4月から入居できるような整備を進めている。今後も移住希望家族を対象に改修事業を推進したい。

### 空き家を活用

いる方に対しての政策は、考えているのか。



定住促進住宅

## 徳之島高校の訪問教室とは

広田 勉 議員

生徒3人、教員1人、3町負担の支援員1人で開始される。



**問** 当議会も、群島議員大会でも大島養護学校高等部の分校の徳之島誘致を要望してきた。平成25年4月からの訪問教室開設に向け、改築工事が行われてきたが、具体的な改修内容は。また、職員の配置はあるのか詳細を。

**答** 秋武教育長  
平成25年4月から徳之島高校の教室を借りて、大島養護学校高等部の訪問教育が始まる。トイレやスロープ、ベッド等の教室の改修、備品等の整備の下、

### 4月から徳高で開始

4月から徳高で開始

### 河川管理と浜のごみ処理は

**問** 河川の障害物撤去は、要望の都度町執行部も県へ上げているが、年次のな計画はないのか。浜に流れ着いたごみ処理は、どうしたらいいのか。

**答** 麓建設課長  
河川の障害物撤去について県は、年次の計画はないので要望の都度対応する。また、海岸の清掃についても、事業等がないため、ボランティアや地域活動に、頼らざるを得ないのが現状である。

### 要望の都度対応

要望の都度対応



河川のごみ

## 議会の動き

- 1月 成人式
- 5日 消防出初め式
- 6日 奄美ティタ委員会、新春政経懇話会(奄美市)
- 12日 新春書き初め席書大会 作品展覧会並びに授賞式
- 13日 歳末大売り出し抽選会
- 21日 第1回臨時議会  
議会だより編集委員会  
希少野生植物保護に係る公開セミナー
- 30日 奄美群島振興開発総合調査説明会及び意見交換会(鹿児島市)
- 30日 議員研修会(鹿児島市)
- 31日 所管事務調査(岡山県)
- 2月 4日 サトウキビ春植え出發式

# 先進地視察

近年農業の形態も変わりつつある。植物工場という言葉を皆さんも耳にしたことはあると思う。都会のビルの中で野菜を育てているイメージをほとんどの皆様がもたれると思うが、栽培技術の向上により、多くの企業・農家が養液栽培（水耕栽培）を手がけるようになった。本町でも植物工場建設計画が、具体的に向け検討されている。議会としても植物工場計画を見据え、鹿児島での市町村議会議員研修に合わせ1月31日岡山県「鬼の城ファーム」（ハ

ウス面積約一反・従業員数常時4人）で稼働中の葉菜用養液栽培システムの先進地視察を行った。このシステムは育苗から栽培まで天候に左右されない、ハウス内で計画生産を可能にした新しい溶

液栽培技術で、全国各方面に多く導入され今注目されている農業の一つである。

ソウの場合、年19作）が可能。また水、液肥等の自動管理、無農薬栽培により環境にやさしく、食の安全・安心にもつながる。

水耕栽培では水量や排水処理が懸念されるが、養液を循環させることにより、水量は反



説明を受ける議員たち

## 1 苗テラス

苗テラスは閉鎖型で温度・湿度・水管理を自動化、天候や季節に左右されず病害虫が入りにくく無農薬栽培、環境にやさしく省スペース・低コストで最高の苗質の計画生産が可能である。

徳之島ではハウスの内の温度を上げる必要がないため、暖房用燃料費は削減されるが、夏場の台風や高温対策が大きな課題である。この課題は、沖縄で既にこのシステムによる野菜の生産販売が実用化されており、十分参考になるものと思われる。

課題をクリアすることにより採算性は十分に見込めるものと考ええる。本町では、農業振興の一環として植物工場建設事業の導入による水耕栽培ハウスの建設により、一年を通じた野菜等の作物栽培体系の確立、高齢者や障がい者の雇用確保を目的し計画を推進している。

## 2 葉菜用溶液栽培システム (ナッパーランド)

自然環境に左右されず新しい溶液栽培により一定の品質で定量出荷に対応した計画生産（ハウレン

課題は、ランニングコストの削減、消費者のニーズに合った品目、生産量が可能か等、幾つかあるが、

経済建設常任委員長 藤井 裕正

# 県町村議会議長会の自治功労表彰

在職 15 年以上表彰



後列左から、福岡兵八郎議員・木原良治議員  
前列左から、内重男議員・町田喜男議員・田袋徹二議員

5日	徳之島三方町議員連絡協議会役員会（天城町）
12日	第64回定期総会、離島関係市町村議会議長会定期総会（鹿児島市）
20日	支え合いの館「いっちょもくれ」開所式
21日	徳之島三方町議会議員大会（天城町）
27日	市町村長・議会議長合同会、議会議長会（奄美市）
3月	議会運営委員会
1日	第1回定例会開会
5日	第1回定例会閉会
14日	劇団四季との交換会
15日	平成24年度「学士村塾」閉講式
16日	平成年会実行委員会総会（天城町）
19日	トリアスロンIN徳之島大会実行委員会総会（天城町）
22日	警察職員送別会
22日	小・中管理職等送別会
28日	自衛隊ヘリコプター殉職者7回忌慰霊祭

# 三力町議会議員大会及び研修会



徳之島三力町議会議員大会及び研修会

徳之島三力町議会議員大会及び研修会が2月21日、天城町役場で開催されました。三町の議会議員、三町長、徳田毅衆議院議員、禧久伸一郎県議が出席し、会長あいさつ、来賓

祝辞、県政報告がありました。また、徳之島町から提出された議題を採択しました。その後、泉町村議会議長会事務局長中村逸朗氏による「会議の諸原則について」、株式会社ジョリゾーム代表取締役井上利一氏による「ニッポンの電柱はなぜなくなるのか？」電柱類地中化の現状と課題」と題して講演が行われました。議決した議題は、次のとおりです。

## 亀徳港の総合的な早期改善について

徳之島の生活・物流・人的交流路線の拠点である亀徳新港は、旧亀徳港の老朽化に伴い、「全天候型一万吨級バース」との島民期待の中、徳之島の新たな海の表玄関として平成8年に供用が開始されました。しかしながら、船舶の大型化により天候によっては、接岸が困難となるケースもあり、現在沖防波堤の設置等、改善策が講じられています。また、本港の改善には至っていないのが現状であります。近年、大型観光クルーズ船の奄美への寄港も多く、九州新幹線鹿児島ルートが全線開通した今、島民の利便性や今後の世界自然遺産登録へ向けた、徳之島の海の表玄関としてふさわしい港としての総合的な整備を図り、大型観光クルーズ船の寄港を



講師の井上利一氏

可能にすること等で、徳之島の自然や文化を世界に発信することで観光客の増加、地域経済の活性化につながる一端になるものと考えられます。また、防災面においても離島における港湾の位置づけは本土と異なる重要なものがあると考えられます。離島を多く抱える本県において港湾整備は、国道や県道整備事業と同様、必要不可欠なものであり、離島相互間又は離島と本土を結ぶ生活航路の発着所として、亀徳港の総合的な早期改善を強く要望いたします。

## 編集 後記

新しい年度の始まり、学校、職場、さまざまなか所で新しい出会い新たな絆が生まれることでしょう。特に新社会人の季節です。不安を抱いている人も多いかと思いますが、気負わずにリラックスして頑張っていくことを期待します。

景気になる、という説もあるらしいです。そこで安倍首相の政府が取り組む「アベノミクス」と呼ばれる経済政策。アベノミクスの効果は本物なのか？ デフレ脱却に期待したい。

今年のは桜は例年にならない早いスピードでの開花だそうですね。近年、気候の関係か、台風の影響で徳之島では残念ながら満開の桜を見ることはできません。ちなみに桜の開花が早い年は好みに桜の開花が早い年はない。

一方のPPP交渉問題。本町でも、農畜産物に係る関税が撤廃されると、地域経済が壊滅的な影響を受けることは明らかであります。慎重に対応してもらいたい。

桜に頼るのもなんだが、徳之島の景気が少しでもよくなることを町民の皆さんと共に祈りたい。

文責 行沢 弘栄



議会だより編集委員の皆さん

- 議会だより編集委員
- 委員長 広田 勉
- 副委員長 徳田 進
- 委員 幸 千恵子
- 委員 行沢 弘栄
- 委員 芝田 龍星